理研シンポジウム

理化学研究所エンジニアリング・ネットワーク・プロジェクト
「超微細画像診断による高速かつ正確な画期的細胞診の確立」

超微細画像データを活用した健康科学の新時代

2017 年 9 月 29 日（金）13:00～18:40（受付 :12:30～）
理研融合連携イノベーション推進棟 (IIB)　8 階 講義室
神戸市中央区港島南町 6-7-1

- **超微細画像による臨床応用**
  村川泰裕（理研）、小林紀郎（理研）、久米慧嗣（理研）
- **血液悪性疾患における細胞診の現状**
  松井宏行（京都大学）
- **腎臓疾患における電顕診断の重要性と限界**
  柳田素子（京都大学）
- **電子顕微鏡技術の最前線**
  須賀三雄（日本電子(株)）
- **細胞から病気を診る～電顕病理学への招待～**
  前田光代（日本電子(株)・理研）
- **X線による軟組織イメージング:**
  マウス胎生致死表現型解析の新展開　田村勝（理研）
- **RIイメージングの新展開**
  本村信治（理研）

特別セッション（15:50-16:20）
「8Kスーパーハイビジョン技術とその医療応用」
谷岡健吉（(一社)メディカル・イメージング・コンソーシアム）

- **画像認識の最前線**
  原田達也（東京大学・理研）
- **生体試料の切削・観察と画像処理による現象解析**
  横田秀夫（理研）
- **画像データが可能にする生命科学の新たな展開**
  大浪修一（理研）
- **オントロジー工学に基づく医療知識の体系化**
  古崎晃司（大阪大学）
- **疲労科学から健康増進科学へ**
  ～個別健康最大化を目指して～　水野敬（理研）
- **日本における医療イノベーションの現状**
  宇佐美篤（(株)東京大学エッジキャピタル）
- **クロージング**　片岡洋祐（理研）

お申し込み

右記サイトより（定員 100 名程度）。
参加費は無料ですが、懇親会参加を
希望される方は別途費用が必要です。

問い合わせ先
理化学研究所 (担当 : 村川、小林、久米)
Email: en-leukemia-sympo170929@ml.riken.jp

主催 ライフサイエンス技術基盤研究センター、イノベーション推進センター
情報基盤センター、健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム
後援 理研エンジニアリングネットワーク